

教科	選択A	科目	世界遺産検定	単位数	2	学年・コース	2年進学/選択者
教科書	『きほんを学ぶ世界遺産100』マイナビ			担当者	坂巻 主税		
概要・ねらい	世界遺産を中心にその歴史や地理、現代社会における諸事情を学び、世界遺産検定4級及び3級合格を目指す。また、世界遺産に関するプレゼンテーションを通して、自己表現力の養成を目指す。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容		評価基準		
	一学期	10	1. 世界遺産の基礎知識 ・世界遺産とは ・ユネスコの設立 ・遺産登録までの流れ ・グラフと数字で読み取る世界遺産	プレゼン資料作成 & 発表	●世界遺産を学ぶ意義を見出しながら、歴史・文化的背景や気候風土に対する理解を深め、世界中に存在する様々な文化や伝統、価値観について学習する。 ●世界遺産が認められるまでの過程について理解し、世界における日本の遺産がどのような位置づけであるかを把握する。 ●世界遺産について、プレゼン資料を作成し発表する	《1学期中間考査》	
		10	2. 日本の世界遺産 ・東日本における都道府県の世界遺産 ・西日本における都道府県の世界遺産	プレゼン資料作成 & 発表	●各都道府県の特徴を捉え、世界遺産に認定されたきっかけとなる出来事や風習について理解し、その内容を説明できる。 ●世界遺産について、プレゼン資料を作成し発表する。	《1学期期末考査》	
	二学期	13	3. 世界の世界遺産 ※4級出題範囲を中心 4級過去問実践	プレゼン資料作成 & 発表	●1学期で学んだことを踏まえ、引き続き日本の遺産を学習し、基礎的な知識を身に付ける。そして検定実施に向けて意識を高く持つ。 ●世界遺産について、プレゼン資料を作成し発表する。	《2学期中間考査》	
		13	3. 世界の世界遺産 ・世界遺産の登録数が多いイタリアと中国について ・各国の世界遺産について	プレゼン資料作成 & 発表	●外国で有名な世界遺産について学び、知識を習得する。 ●世界遺産について、プレゼン資料を作成し発表する。	《2学期期末考査》	
	三学期	12	4. 世界遺産検定 ・過去問の実践		●検定試験に向け、過去問に取り組み知識を習得する。 ●プレゼン資料を作成し、発表する。	《学年末考査》	
履修上の注意							
<p>●筆記用具、テキスト、ワーク、iPadを忘れないこと。授業では頻繁にロイロノート等で課題を配信します。iPadを忘れると授業に参加できません。</p> <p>●各学期中最低でも1人1回、任意の世界遺産、指定されたテーマの世界遺産についてプレゼンテーションを行います。</p> <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		資料活用 of 技能		知識・理解
評価の観点の趣旨	歴史や自然環境だけでなく、文学や音楽、絵画、神話、建築、世界政治、平和問題、観光など、現代の世界を形作る様々なものと結びつく世界遺産に興味を抱けるか。		世界の遺産から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特徴を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。		地図や絵画などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。		私たちが日常生活を送る社会とは異なる魅力をもつ世界の文化や自然を知り、日本の文化や歴史の価値も再発見できるか。
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出		●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出		●授業内での発表 ●定期テスト ●授業への取り組み姿勢		●定期テスト ●課題等の提出

教科	選択A	科目	ニュース検定	単位数	2	学年・コース	2年進学/選択者
教科書	なし			担当者	齋藤 翔太		
概要・ねらい	広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な社会人としての資質を養う。また、ニュース検定の資格を取り、今後の進路に活かすような授業を展開する。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	20	<ul style="list-style-type: none"> ●授業日前後で話題になっている時事問題を取り上げ、その背景や過程を学ぶ ●暮らしに関する問題に焦点を当てて、問題演習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に事象を理解しようとしているか。 ●諸問題に対する自身の考えをまとめることができるか。 ●自身の考えを文章にまとめることができるか。 <p style="text-align: right;">《1学期中間考査》《1学期期末考査》</p>			
	二学期	26	<ul style="list-style-type: none"> ●授業日前後で話題になっている時事問題を取り上げ、その背景や過程を学ぶ ●社会と環境に関する問題に焦点を当てて、問題演習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に事象を理解しようとしているか。 ●諸問題に対する自身の考えをまとめることができるか。 ●自身の考えを文章にまとめることができるか。 <p style="text-align: right;">《2学期中間考査》《2学期期末考査》</p>			
	三学期	12	<ul style="list-style-type: none"> ●授業日前後で話題になっている時事問題を取り上げ、その背景や過程を学ぶ。また、国内で起きた出来事をふり返り、学習する。 ●政治と経済に関する問題に焦点を当てて、問題演習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に事象を理解しようとしているか。 ●諸問題に対する自身の考えをまとめることができるか。 ●自身の考えを文章にまとめることができるか。 <p style="text-align: right;">《学年末考査》</p>			
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ●検定試験を1回は必ず受験すること ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
評価の観点の趣旨	現代の世界が当面する課題について考察し、戦争を防止し民主的な平和な国際社会を実現することが重要な課題であることを認識できたか。	政治、経済、社会、文化、生活など様々な観点から歴史的な事象を取り上げ、近現代世界に対する多角的で柔軟な見方を養えたか。	客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確に理解し、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成できたか。	諸地域世界、交流圏、国際関係の展開などを、比較文明的視点からもとらえ、各時代における世界の中での日本の位置を理解したか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト ●課題等の提出 			

教科	選択A	科目	数学検定	単位数	2	学年・コース	2年進学/選択者
教科書	『数学検定ステップアップ問題集準2級』ユーキャン			担当者	村松有摩		
概要・ねらい		<p>・数学検定準2級合格を目標とし、中学校及び高等学校1年生で習った基礎学力の定着とともに、論理的思考能力の向上を図る。</p> <p>・方程式と不等式、2次関数及び図形と計量、平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方のよさを認識し、活用できるようにする。</p>					
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価活動			
	1学期	20	計算技能検定対策 1. 数と式 2. 方程式・1次不等式 3. 関数・2次不等式 4. 三角比 5. 確率 6. 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項を理解し、計算を行うことができるか。 ・各公式の性質を理解し、問題に活用することができるか。 《第1学期中間考査》 <ul style="list-style-type: none"> ・不等式の特性を理解し、論理的に互いの関係性を表すことができるか。 《第1学期期末考査》			
	2学期	24	数理技能検定対策 1. 数の性質・方程式の応用問題 2. 2次関数の応用問題 3. 図形の応用問題 4. 論理的応用問題	<ul style="list-style-type: none"> ・出題頻度の高い公式を的確に問題に活用できるか。 ・2次関数の特徴を理解し、様々な出題形式に対応することができるか。 《第2学期中間考査》 <ul style="list-style-type: none"> ・各図形の特徴や公式を理解し、活用することができるか。 ・論理的に問題を考察し、解答を導くことができるか。 《第2学期期末考査》			
	学	10	予想模擬検定問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・検定取得に向けて、積極的に演習に取り組んでいるか。 			
履修上の注意		<p>授業は担当者が作成したテキストで行います。各授業で単元ごとに配布しますので、必ずテキストとノートを持ってくること。また、課題等の提出に関しては評価に影響しますので、必ず提出するようにしてください。</p> <p>3学期に数学検定を受験してもらいます。</p>					
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考力・判断力	資料活用 of 技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	<p>数学的活動を通して、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。</p>	<p>事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。</p>	<p>事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。</p>	<p>数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。</p>			
評価方法	授業への出席状況 授業への取り組む姿勢 課題等の提出状況	小テスト・数学検定の結果 授業への取り組む姿勢 課題等の提出	授業への取り組む姿勢 問題作成時の取り組み	定期考査 数学検定の結果 課題等の提出			

教科	選択A	科目	音楽選択	単位数	2	学年・コース	2年 進学/選択者
教科書	教育出版社「tutti II」			担当者	黒田早彩		
概要・ねらい	譜面を見ながら演奏したり歌唱したりする力を身につけ、表現と鑑賞・製作(創作)等の活動を通じ、より深く音楽を愛好する心を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	5 20	● 歌唱 ドイツ語の歌「野薔薇」 アカペラ 「春が来た」「夏は来ぬ」 ※コールユーブンゲン ● 器楽 22 リコーダー(アルト)※コロナ対策 ミニキーボード 沖縄音楽を題材とした二重奏の楽曲 ● 理論 12 ソルフエージュ(メロディーの採譜) 合唱練習・新学生歌の練習	ドイツ語の歌詞に注意して歌う事が出来たか。 楽器の伴奏を伴わずに、正確な音程を取り、正しい発声で歌う事が出来たか。 声によるハーモニーを感じ、その響きをより良くする努力をしたか。 沖縄民謡を演奏し、その独特な音階を知り、表現することができたか。(修学旅行の事前学習を含む) 正しく譜面を書くことができるか。 ※文化祭・110周年行事に向けて			
	二学期	12 22 22 22	3部合唱・今年度の合唱(曲目未定) 3部合唱・今年度の合唱(曲目未定文化祭に向けて) ※コールユーブンゲン ● 器楽(合奏) リコーダー(アルト・ソプラノ)※コロナ対策 ミニキーボード 三重奏の楽曲 創作 22 沖縄音楽の研究「島唄」 ● 理論 22 ソルフエージュ	合唱を通じて、お互いの声のバランスや音程に注意して歌うことができたか。 リコーダーの音色を楽しみ、より良い響きを感じ取り、工夫し取り組むことができたか。 沖縄音階と歌詞を理解することができたか。 沖縄民族楽器の音色等を理解し楽しむことができたか。 正しく音程をとり、譜面を通し表現することができるか。			
	三学期	18	● 創作 ● 3部合唱・今年度の合唱(曲目未定) ● 器楽(合奏) ● 鑑賞教材 教材未定(海の上のピアニスト、レイ等)	積極的に取り組むことができたか。 総合的なテクニックを使い、工夫して表現することができたか。 自分の意見、気持ちをしっかりと表現出来たか。			
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ● 授業は教科書とプリントを使用して行う。自己の取り組みを自身で評価し、次の実技項目に生かす。 ● 器楽の授業においては、積極的な取り組みが必要である。 ● 鑑賞においては、事前の調べが必要である。 							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力			
評価の観点の趣旨	音楽の応用を学び、演奏及び歌唱においての読譜力を高め、メロディーや楽器を自ら作り、音として表現することの喜びを知る。	譜面を読み取り、自ら音として表現する姿勢を養う。 鑑賞を通じ、音楽に対しより深い興味を抱くよう、事前の調べ等を工夫し、努力する。	発声・音色・音程に留意し、楽曲を正確に表現すると共に、強弱やテンポなどの個人的な表現を工夫し発表する。	多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。			
評価方法	授業の出欠状況 取り組む姿勢 提出物等 実技試験	授業の出欠状況 取り組む姿勢 提出物等 実技試験	授業の出欠状況 取り組む姿勢 提出物等 実技試験	取り組む姿勢 学習プリントの提出			

教科	選択A	科目	美術選択	単位数	2	学年・コース	2年 進学/選択者
教科書	高校美術2(日本文教出版)			担当者	岡田 敬子		
概要・ねらい	美術 I では平面・立体・デザインと基礎的なことに重点を於いて指導したが、2年の美術では美術 I の応用を入れた作品を考える。そのことにより美術の表現の工夫・創造の技能を伸ばしていく。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	10	平面構成(季節を表す)	色彩による季節感をどのように配色するかを考える。 季節感をいかに表現出来るかを評価する。			
		6	紙立体の制作とデッサン 様々な紙による立体を展開図にし、それらの立体を組み合わせていく。	スケッチブックの画用紙を利用し様々な立体を考える。 展開図を示し例とする(立方体、四角錐、三角錐)。 四つの立体を結合させのりしろが何処に必要になるかを考える。			
	二学期	12	ショッピングバックの制作 平面作品と立体作品の中間の意味合いを持つ。 裏表とサイドにも気を使いデザインを考える。	実際に使われている紙バックを準備し導入すること。 装飾性やデザインに、テーマを設けて指導する。 下絵は別紙(スケッチブックに)描かせる。			
12		木版画(多色刷り) 版木によって木版画にしかできない表現を出す。 彫刻刀の刃による様々な表現方法を交え 創作してみる。	テーマを設けて指導する。 文字や装飾・デザインにはテーマを設ける。 下絵は別紙(スケッチブックに)描かせる。				
三学期	14	木彫(鳥) 鳥の曲線、形を正確にとらえる。 木彫による彫りやしなやかな線を表現しながら 彫り進めていく。	アイディアスケッチから様々な方向から見たデッサンをまとめる。 鳥の形、模様や色合いを正確に表現する。 木を彫り進め、絵の具により色合いや模様を塗り進めていく。				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の持ち物には必ず記名し保管する。 ・授業時に使用した自分の絵の具、学校の教具に関してはきちんと清掃、整頓を行って下さい。 ・実技作品は提出期限を守り必ず提出して下さい。 							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞理解			
評価の観点の趣旨	表現の主題や形式などに 幅広く関心や興味を持ち 表現の喜びを味わう姿勢。	立体の意味を理解し創造する 表現に工夫がみられる。	創造的な表現をする為の 様々な工夫をしている。 用具の使い方の理解度	作品の持つ魅力を理解する 歴史的な意味合いも加味し理解する。			
評価方法	1、授業への取り組む姿勢 2、実技作品の成績	1、実技の完成度 2、授業への取り組み	1、実技作品の完成度 2、授業への取り組む姿勢	1、実技作品の完成度 2、授業への取り組む姿勢			

教科	選択A	科目	書道選択	単位数	2	学年・コース	2年 進学/選択者
教科書	「書道Ⅱ」光村図書			担当者	北田 朋子		
概要・ねらい	書道Ⅰで学習したことを更に発展させ、創造的で個性的な造形の豊かさと線質の豊かさを高め、書の文化や伝統を愛好する心を育てる。 書の多方面な展開を楽しむ。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	6	臨書(半切作品制作)	古典の筆法をまねて、半切作品を制作することができたか。			
		6	漢字仮名交じりの表現	任意の作家の作品をまねて、漢字と仮名の調和を知り表現できたか。			
		8	自由制作(全紙作品制作)	今まで学んだことを活かし、オリジナルな作品を制作することができたか。 よき位置に名前を書き、印を押すことができたか。 お互いの作品を鑑賞することができたか。			
二学期	4	うちわ文字入れ	今まで学んだことを活かし、オリジナルな作品を制作することができたか。				
	16	刻字作品制作 布字 彫刻刀による刻字 着色	少数文字による作品を素材にした木額作成で、いかに工夫したか表現を試みるか。お互いの作品を鑑賞し、その批評を表現することができたか。				
三学期	6	仮名	連綿を知ることができたか。 平仮名と変体仮名を使って創作ができたか。				
	4	自由創作(小作品)	今まで学んだことを活かし、オリジナルな作品を制作することができたか。 よき位置に、印を押すことができたか。 お互いの作品を鑑賞することができたか。				
履修上の注意							
共有物は大切に使用し、次の時間の生徒に不愉快さを与えないことを学ばせる。 学習内容により危険物の使用が多くなるので、沈着な授業展開が必要となる。 木額作品作成以外では毎時間作品の提出を求める。 年間の授業時間数の格差が生じた場合は、小楷の訓練に当てて調節する。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受		創造的な表現と技術	鑑賞と理解の能力		
評価の観点の趣旨	主体的に書と関わる姿勢が必要。自ら感性を高め、美との関りに喜びを求める。	感受性豊かに、作品に反映させた作品を作る。		教材を理解し独自の表現を試みる。	歴史の展開を知り、その時代背景と共に鑑賞する。 素直に表現する。		
評価方法	授業に取り組む姿勢。 作品の成績と提出状況。	作品の完成度。 文言の選択。		作品の完成度。 独自性。 用具用材への取り組み方	作品の完成度。 作品にいかに生かされたか。		

教科	選択A	科目	英語検定	単位数	2	学年・コース	2年 進学/選択者
教科書	英検準2級過去問題集(旺文社) Step by Step 4 Skills 1,2 (三省堂) ほか			担当者	中田昌博		
概要・ねらい	<p>英検受験対策をし、各自のスコアを伸ばせる授業を行う。</p> <p>授業内では4技能の平均的に取り組む。グループでの学びあいの活動を行う。</p> <p>学年末受験の実用技能英語検定にて準2級取得を目標とする。</p>						
年間授業計画	一学期	2	1 英検について、学習計画	・目標の設定、現状の把握			
		3	2 オリエンテーション1	・3級未受験者へのガイダンス、3級の復習			
		3	Unit1	・完了形、関係詞、分詞、不定詞			
		3	4 文法チェック④、⑤	・前置詞、接続詞、助動詞、比較、代名詞			
		3	5 練習問題 筆記1	・文法事項の確認、イディオムの確認①			
		3	6 練習問題 筆記2	・文法事項の確認、イディオムの確認②			
		3	7 練習問題 筆記3①	・空所補充のポイント			
	二学期	1	8 英検C B Tについて	・コンピュータを用いたテストングについて			
		3	9 リスニング第1部①	・聞き取りのポイント、音の連結を学ぶ			
		3	10 リスニング第2部①	・選択肢から質問を予想する			
3		11 リスニング第3部①	・解答となるポイントの聞き取りとマークシートについて				
3		12 練習問題 筆記3②	・読解のポイント、単語確認				
3		13 練習問題 筆記4 A①	・メール文の読解①				
3		14 練習問題 筆記4 A②	・メール文の読解②				
三学期	4	15 練習問題 筆記4 B①	・読解問題、内容一致の解答				
	4	16 練習問題 筆記4 B②	・読解問題、速読、スキミングについて				
	3	17 練習問題 筆記5	・Writingまとめ				
	2	18 リスニング第1部②	・直前リスニング対策①				
	2	19 リスニング第2部②	・直前リスニング対策②				
2	20 リスニング第3部②	・直前リスニング対策③					
3	21 ミニテスト	・直前対策					
履修上の注意							
<p>1 真面目に授業に参加すること。</p> <p>2 辞書、ノート、筆記用具を必ず持参すること。積極的な態度で授業に参加すること</p> <p>3 宿題を課すこともあるので、忘れずに取り組むこと。</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	英語的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解			
評価の観点の趣旨	出席、取り組み姿勢	日常生活から英語での表現を意識できているか。	自らの表現したい事を適切に英語で表現できるか。	英語表現を含む、英語文化の理解ができているか。			
評価方法	出席、発言 授業への取り組み姿勢	授業への取り組み姿勢 スピーキングテスト	スピーキングテスト ライティング課題	ライティング課題 授業内発表			

教科	選択A	科目	保育検定	単位数	2	学年・コース	2年 進学/選択者
教科書	使用教科書なし			担当者	江波戸純子		
概要・ねらい	将来保育士・幼稚園教諭として、必要な知識や技能を習得し、全国高等学校家庭科保育検定4級、3級の取得を目指す。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	1	オリエンテーション	保育技術検定について、理解出できたか。			
		3	画用紙を使用した数字のコラージュ	0～9までの数字を配色良く、貼ることができたか。			
		2	折り紙を使用したコラージュ	折り紙の折り方や切り方を工夫し、作品が作れたか。 色や大きさの配分を考え、画用紙に貼ることができたか。			
		2	折り紙制作	いろいろな折り紙の折り方を覚えたか。			
		2	保育検定4級「造形表現」練習	試験の雰囲気を感じ、折り紙の表現ができたか。			
		1	保育検定4級「造形表現」試験	家庭科保育技術検定の評価基準に沿って評価			
		1	保育検定4級「音楽・リズム表現」練習	幼児に関する音楽を知ることができたか。			
		2	保育検定4級「家庭看護」練習	乳幼児の世話について、理解できたか。			
		2	保育検定4級「言語表現」練習	幼児への読み聞かせの注意点等を理解できたか。			
	4	保育検定4級「音楽・リズム表現」「家庭看護」「言語表現」試験	家庭科保育技術検定の評価基準に沿って評価				
	二学期	4	「園だより」作成	行事を考え、作成出来たか<<園だより提出>>			
2		保育検定3級「造形表現」練習	折り紙と描画による作品について理解できたか。				
2		保育検定3級「造形表現」試験	家庭科保育技術検定の評価基準に沿って評価				
4		保育検定3級「看護技術」練習	乳児の着替えの方法を理解できたか。				
2		保育検定3級「看護技術」試験	家庭科保育技術検定の評価基準に沿って評価				
4		保育検定3級「言語表現」練習	紙芝居の読み方について、理解できたか。				
2		保育検定3級「言語表現」試験	家庭科保育技術検定の評価基準に沿って評価				
2		保育検定3級「音楽・リズム表現」練習	ピアノの練習ができたか。				
三学期	4	飛び出すカード	仕組みを理解し、作成出来たか <<カード提出>>				
	4	保育検定3級「音楽・リズム表現」練習	ピアノの練習ができたか。				
	4	保育検定3級「音楽・リズム表現」試験	家庭科保育技術検定の評価基準に沿って評価				
4	絵本作成	自分独自の絵本が作成できたか。					
履修上の注意	<p>実技のみの授業です。それぞれの学期ごとに提出する作品などがあるので、期日を守りきちんと提出をして下さい。またそれぞれの内容を理解した上で実践していきますので、積極的な姿勢で授業に臨んでください。</p>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	技能・表現	知識・理解	思考・判断			
評価の観点の趣旨	保育者の役割を理解し、積極的な姿勢で授業に臨み、制作活動にも主体的な取り組みが見られる。	自分の伝えたいことをそれぞれの実技試験で表現できる。	保育士の役割を理解し、それぞれの内容にあった表現方法が身についている。	基本的な技術を理解し、自分に合った方法に応用している。			
評価方法	授業の出席状況 授業に取り組む姿勢 作品の提出	保育技術検定 飛び出すカード 絵本作成	保育技術検定 作品の提出	授業に取り組む姿勢 問題解決の方法 保育技術検定			